

第17回日本の次世代リーダー養成塾に参加して

◇卒塾生の感想文より

NO. 1

1 リーダー養成塾を受講して

クラスでは、はじめは皆ぎこちなく、話す人が限られて上手く議論ができなかった。しかし議論の練習を少人数で行ったことで仲が深まり、議論が活発になった。一点に深掘りし過ぎて頭を抱えた事もあったが、意見がぶつかり合い、磨きがかかり、とても楽しかった。

それぞれ学校が始まり、人が集まりにくくなったり、日を置くと次の講義までの準備不足等で再び発言者が限られ、特定の人負担が大きくなったりと雰囲気の良いときもあった。そんな時、担任の先生方から心のこもった熱いメールを受け取り、各自でしっかりと考えを持って参加するようになった。全員の気持ちが引き締まったきっかけだったと思う。時間をかけて丁寧に、様々な意見を聞き取った上で解決に生かすことの大切さを学んだ。

2 印象に残った講義とその理由

株式会社ボーダレス・ジャパンの代表取締役社長の田口一成先生の講義で、起業家のイメージが変わった。頭がいい人、有名大学を卒業した人などしか起業できないだろうと思っていた。しかし「やりたい」という強い思いがあれば応援してくれる企業もあることを知って、起業に興味を湧いた。恩送りという相互扶助システムは初めて聞いた。起業に挑戦するアイデアやノウハウが広がっていくことは、より良い社会を作っていく若者の成長へ繋がるから素晴らしいなと思った。

3 今後のわたし

世界には様々な問題があるが、私は将来、環境問題に携わる仕事に就きたいと思うようになった。クラスで、地球温暖化対策としてフードロス減らすための子供食堂を作ろうという意見が出た。リーダー塾では、様々な素晴らしいアイデアが出てくるが、それを実行しないと広まっていけない。私は子供食堂を作るというアイデアにとっても興味を湧いて、ある目標ができた。それは、子供たちが誰でも、社会性と環境問題について実践的に学べる食堂を設ける団体を作ること。そして私たちの次の世代、さらに次の世代と地球が持続可能であり、子供たちが環境問題に当たり前に関心を持てるようにしたい。

多くの先生の講義で、常に好奇心を持つことが大事だと学んだ。新しいことに挑戦するのは不安もあるが、それ以上に好奇心を持てば自然と楽しく、壁にぶつかっても乗り越えることができると思う。失敗を恐れず、常に挑戦していきたいと思う。

1 リーダー養成塾を受講して

前例のないオンライン開催となった第17回日本の次世代リーダー養成塾に参加し、非常に良い時間を過ごすことができました。社会問題を解決する社会起業家になることが私の将来の目標です。その目標の実現にプラスにしようと参加を決意しました。オンライン開催で本当に上手く議論や講義ができるのか始まるまでは不安が大きかったです。

私たちのクラスは、SNSについて議論を行いました。SNSは本当に身近で、なくてはならないものです。SNSは誰でも簡単に利用できる利便性がある一方、誹謗中傷やデマなどの問題が顕在化しています。SNSに限らず「言葉」には魂があります。また、ひとりひとりの人間は自分の発した「言葉」で生き、「言葉」で形成されています。つまり、「言葉」はその人自身であり、心です。

Zoomでのクラス会議は慣れるまでが大変でした。ある時は、一人の意見のみが提示され圧倒され意見を言えない生徒も多くいました。学級委員任せの部分も多くあり、アジアハイスクールサミット後の学級委員との振り返り・LINEでのアドバイスは日課でした。学級委員がLINEを使い、電話を活用しひとりずつ面談する日もありました。順調かと思われたクラス運営も、「方法論」ばかりを議論する日が続き、理解できず取り残される仲間がどんどん多くなり、議論することが嫌になりそうでした。ブレイクアウトルームを活用する、LINEのノートを活用するなどより多くのメンバーの意見の吸収に努めました。誰ひとり欠けることなく卒業できたこと、仲の良いクラスであったこと、当たり前かもしれませんがこの当たりの幸せを強く感じました。誰ひとりとして仲間を馬鹿にするような人間もいません。本当に良い仲間、良い先生に出会い、良い議論が出来ました。

クラス発表については、どのクラスの発表も素晴らしかったです。個性が出ていて面白かったです。私たちは当日の朝までプレゼンの手直しをしていました。一つの考えやアイデアを、まとめあげることの大変さを感じました。それと同時に、達成感を感じました。発表中に回線の調子が悪くなってしまった場面がありましたが、最後までよくやり切ったと思います。発表の寸前まで練習を重ね本当に頑張りました。約2か月の間議論してきた内容を発表出来たことは誇りです。そして、1つの発表を完成させるためには、スライドを作成する人、文章を読む人、スライドを操作する人など多くの仲間の協力で成り立っていると感じました。これからも8組の仲間と国内外の課題について、深く議論していきたいと思いました。頭の中に汗をかきくらい激しく議論できたこと、本当に良かったです。

海外の学生との交流については、Zoomから日本語以外の言葉が聞こえてきたことに感動、興奮しました。マレーシアの生徒は自由な方が多くなかなか進行が難しい気もしました。英語の大切さ、意思疎通の大変さを感じました。

そして、フィリピン出身の友達が出来ました！その生徒の将来の夢は「心臓外科医」だそうです。日本のことが好きな生徒が多くて嬉しかったです！日本という国の魅力をより多くの人に発信していきたいと思いました！最高！！

2 印象に残った講義とその理由

全 20 回以上の講義。どれも講師の方々の個性が溢れるものでした。全員の講師に共通していたことそれは、非常に前向きであるという事です。何か目標を持ち、日本や世界、宇宙のことを広い視野で見つめていました。そんな、素敵な講師陣の素敵な講義の中でも印象に残った講義を3つ紹介します。

まず、1人目は山本太郎氏（長崎大学熱帯医学研究所国際保健分野教授）の講義です。

一番衝撃的な言葉は「ウイルスは宿主である人間を滅ぼすことはない」です。細菌の研究をしているからこそその視点で面白かったです。ウイルスの生きる条件として宿主がいることが絶対なのだそうです。宿主（人間）が死んでしまえば＝ウイルスが全滅するという事からの言葉でした。また、新型コロナウイルスについても言及されておりました。はっきりと新型コロナウイルスを根絶することは出来ないとおっしゃいました。また、スペイン風邪と絡ませて非常に興味深かったです。最終的な終息については、3~4割の人が感染する。集団免疫を獲得することが条件だそうです。北欧諸国では、元気な若者にわざと感染させ免疫等の研究を行っているそうです。また支援活動についての言及もありました。教授は社会貢献活動を行っておられます。具体的には、災害後の医療支援、難民支援、政策提言です。支援をするうえで大切にしていることは、相手を「リスペクト」すること。支援される側、支援する側という大きな差を生むのではなく「リスペクト」し対等な立場で、同じ目線で考えることを学びました。私の将来の目標は社会起業家になって社会問題の解決に尽力することです。特に、貧困や教育格差、飢餓をはじめとする子ども関連の問題に取り組みたいです。支援をするときは、相手の目線に立ちともに生きる、「リスペクト」と「共生・共成」を大切にしていきたいです。

2人目は田口一成氏（株式会社ボーダレス・ジャパン代表取締役社長）の講義です。

全てが自分にとってプラスでした。将来の夢に直結するお話で本当に良い経験になりました。さらに起業してやるという気持ちが強くなりました。私が社会起業家になろうと決意した理由は中学3年生の時に世界の貧困に関する動画を視聴したからです。田口氏が社会起業家を志した理由は大学2年時に栄養失調に苦しむ子どもの映像を見て「これぞ自分が人生をかける価値がある」と決意したそうです。近しいものを感じました。

私の印象に残っている田口氏の金言を紹介します。

1. 人生の価値は何を得るかではなく「何を残すか」にある。
2. ハチドリ一滴、今自分にできることを。微力でも無力ではない。「ハチドリ魂」
3. やりたいこと×役割・・・自分に向いている立場は社長？営業？マネージャー？自分の適所を探す。

田口氏は現在、地球温暖化対策に力を入れています。これから先の地球の未来を考える素敵な起業家です。

3人目は村木厚子氏（津田塾大学客員教授）の講義です。木村氏の冤罪事件の話もびっくりしました。刑務所の中で少しですが買い物ができるそうです。その買い物を楽しみに、チョコレートは明治？ロッテ？など、常識では考えられないほどの知的好奇心を発揮されておられました。

この他にも素敵な講義を聴くことができ良かったです。必ず、自分にプラスにします。

3 今後のわたし

私の将来の目標は「社会起業家になり社会問題の解決に尽力する」という事です。これから先の世界はますます情報が持つ力が大きくなります。また、技術が天井もなく発展するでしょう。AI が人間の仕事を代わりにやってくることが予想され、人間社会は大きな変換点、分岐点にあります。こんな現代だからこそ、人間の持つ「こころ」を大切にしたいと強く思います。

多くのクラス発表で「バーチャル」や「仮想空間」の話が上がりました。私が一つ確実にやりたいことは「学校」をつくるという事です。貧困と教育は大きな関係があります。この新型コロナウイルス下で感じたことは、「オンライン」の可能性です。学校を設立する際も、Zoomをはじめ、オンライン会議アプリを活用することで人員の削減に繋がる、場所の制約を必要としない支援ができると感じました。これから先、塾のアイデアを実現していく中で、気を付けるべきことは、そのアイデアが本当に人を幸せにするのか、万人を笑顔にできるのかを考えることだと思います。今後、より情報の持つ力が大きくなっていく中において「情報倫理」はもちろん基本的な「道徳心」も欠かせません。「バーチャル」や「仮想空間」は非常に便利であり、夢がある一方でバーチャル依存などという言葉が出てこないか危惧しています。

今後は、SNS や AI、IoT など技術の発達により間接的な人間同士の関わりがより増えると思います。そんな中で、人間は直接的なコミュニケーションを求めているのではないかと思います。話し相手までもが生の人間ではなくなるかもしれない未来。私は、人間のコミュニケーションの力を信じ、人と人をつなぐ、コミュニケーションが主体のビジネスを創出したいと考えています。また、11月中旬には大学入試があります。夢の実現に向け「企業と貧困」をテーマに研究を行います。

私は塾でできた沢山の友達とのつながりを大切にして日々生きていきます。何か新しいことをしようとするとき必ずと言っていいほど否定する人や、非難をする人がでてくると思います。アンパンマンにはバイキンマンという敵がいるように100人いて100人に好かれることはなくても100人から嫌われることもないと思います。博愛精神を忘れずに大切な人と一緒に理想を語り理想を実現していきます。

「必ず出来る。やるしかない。」「For the best smile. 不可能を可能に。」私が大切にしていることです。

1 リーダー養成塾を受講して

前例のないオンライン開催で不安な気持ちがありましたが、約2ヶ月間、クラスの仲間とディスカッションをしたこと、著名な講師の方々の講義を受けたことで刺激を受けると同時に多くのことを学ぶことができました。

その中でも印象に残っていることが2つあります。1つ目は、「誰かのために…」ということです。鎌田先生、村木先生の講義や、クラスでの「アジア架け橋プロジェクト」とのディスカッションの中で自分のために動くのではなく誰かのために動くことも大切であると改めて感じました。2つ目は、仲間の大切さです。アジアハイスクールサミットの最終発表の時にこの仲間たちと何時間も、何日も考えたことをオンラインの形にはなりましたが、発表でき仲間と1つのことを創りあげる大変さを学ぶことができました。1日に何時間もパソコンを見るのが今までになく、嫌になりそうな時がありましたが、クラスの仲間の言葉に励まされ、最後までやりきることができました。

2 印象に残った講義とその理由

明石先生と滝先生の講義が印象に残っています。

明石先生の講義から、英語でコミュニケーションをとるときに、発音やアクセント、流暢さを重視するのではなく、内容が大切であること、対話の中で相手が何を自分に伝えたいのかを注意深く聞くことが大切であることを教えていただきました。講義を聴く前までは、英語で話すときは発音や流暢さ、文法が大切だと思っていましたが明石先生の講義を受け、自分の伝えたいことを伝えることができることが大切だと考えが変わりました。

滝先生の講義と著書から、「やらなければならないことは、やりたいことにしよう！」を実践したいと思いました。志を高くもち物事をやっていき、どんな局面でも楽しく過ごして物事をうまく運んでいるリーダーになりたいと講義を受け考えました。

3 今後のわたし

英語のみの講義で9割ほど理解出来ない自分に腹が立ち、自分の英語力の乏しさを痛感しました。その悔しさをバネにして英語力をつけ、英語だけでディスカッションできるようになることが今の目標です。講師の方々はパッション(情熱)と好奇心、探究心をもっていました。私も講師の方々のように情熱と好奇心、探究心を常にもち、常に新しいことに目を向け、多くのことに挑戦していきたいと思いました。滝先生の講義を受け、やりたくないことができたその時に、やりたくないことをやった後にどんなことを吸収することができるのか、知識がつくのかなど先のことを考え行動していきたいと思います。

◇卒塾生の感想文より

NO. 4

1 リーダー養成塾を受講して

入塾時、リーダーは皆を引っ張るカッコいい存在で、そうなるべきだと思っていました。リーダーになる事が良いことという認識がありました。しかし、リーダー養成塾を受講して、「目標はリーダーではなく、自分の夢」と考えるようになりました。アジアハイスクールサミットに向けたクラスの話し合いで、フォロワーの協力の重要性を実感しました。具体的に言うと、私はクラス委員では無く、一クラスメイトとして考えを出す立場でしたが、話し合いの場面では委員も他も関係なく、全員の考えを出し合って深め合っていくことが必要です。また、話し合いの進行の仕方にも思うことがあれば指摘し、話し合いをより良くしたり、各個人の意見をまとめて投稿したり、立場によらず貢献出来るポイントが多くあったと思います。だから、リーダーという地位にこだわらず、目標や意志、やりたいことを自分の中で明確に持って、それを行動に移せる人になりたいと思いました。自分の夢を実現するための過程で、共感して協力する仲間や信頼関係を増やししながら努力する姿が、自然とリーダー的存在になっていくのではないかと思います。

2 印象に残った講義とその理由

滝久雄先生の講義で、「好奇心」の大切さを学びました。講義の中で「好奇心を発揮し、『何故』を3回繰り返すことで、理解が深まる」というお話がありました。その後、日常生活で「なぜ」という問いを立て、自分なりに考えたり調べたりしようと意識してみると、様々な事象が理解でき、面白いと思うようになりました。新しい知識を得たり、全く別物だと考えていた事に共通点を見つけたりすることは楽しく、自分の頭で考えて理解した事が自分の力として生かせると思います。これからはどんな事でも自分の頭で納得出来るまで考えて、豊富な知識を身につけたいです。

3 今後のわたし

リーダー塾に参加した理由として、「将来の夢を決めたい」と考えていたけれど、結局決まらず、寧ろ、様々な職業や境遇で生きてきた先輩達の人生経験全てに惹かれるものがあり、選択肢が増えたように感じました。しかし、それで良かったと思います。自分が今まで狭い範囲で生きてきた事が分かり、これから多くの知識や価値観を身に付ける中で、本当にやりたい事を決めたいです。だから、今は日常で考え、学び、自分の力を大いに高めていきたいです。そして、リーダーとしてもフォロワーとしても活躍出来る存在を目指したいです。

リーダー塾に参加して、学校で学べないような沢山のことが学べて、良い仲間にも出会えて、良かったです。それを生かして、自分らしい生き方をしていきたいです。

1 リーダー養成塾を受講して

私はリーダー塾に入塾する前、すごい人ばかりが集まるのだろうな、なかなか議論に加われないのだろうなと思っていました。でも実際に参加して、本当にすごい人もいましたが、ほとんどの参加者は自分の描く未来やなりたい自分に向かって努力し続けている人でした。自分の意見を表すことが苦手だという人も多くいましたが、みんな変わりたいとって積極的に変わろうとしていました。そんな仲間の姿を見て私も頑張らなきゃ、自分を変えたいと思い積極的に議論に加わることができました。クラスメイトは何を言っても否定することなく受け入れてくれ、自分に自信をつけることができました。とてもかけがえのない経験をすることができました。

2 印象に残った講義とその理由

私の印象に残っている講義は滝久雄先生と村木厚子先生のご講義です。

滝先生のご講義の中で印象に残っている言葉は「やらなければならないことは、やりたいことにしよう」と「目標になる人に出会う」という言葉です。今までの私はやらなければならないと頭ではわかっているけどもやりたいことを優先してしまい後から後悔するということがありました。しかし一つ目の言葉を聞いて物事に興味を持って取り組みやらなければならないことをやりたいことに変えることができればもっと成長できると思いました。すぐに変わることは難しいと思いますが変わろうと思うことができました。二つ目の言葉は目標となる人に出会うことができたら一気に成長できると気づかされた言葉です。今まではただ漠然と成長したい、こうなりたいと思っていたけれど、それでは抽象的過ぎてどうすればよいのかというプロセスが曖昧でした。しかし、この言葉を聞いて目標となる人に出会えばよいということに気づくことができ、これからどうしたらよいのかがはっきりしました。

村木先生のご講義の中で印象に残っている言葉は「小さなことから始める」「自分にできることを」です。今まで自分にはできない、こんなことできるはずがないと思いあきらめたことがいくつもあります。でもそれは小さなこと、自分にできることから始めたらできたことかもしれない、と思いました。物事に対して絶対にできないではなくすぐには難しいかもしれない、でも自分にできることはないだろうかと考え実行していくことが大きな目標達成への一歩だと感じました。

3 今後のわたし

今回リーダー塾に参加して、英語の大切さ、自分の考えを持ちそれを表現する事の大切さ、同じ目標に向かう仲間の大切さを感じました。今後は今回の経験を活かし、苦手な英語に力を入れ、積極的に意見を言ったりすることを大切にします。仲間を大切に、自分のためだけでなく誰かのために行動できる人を目指します。

◇卒塾生の感想文より

NO. 6

1 リーダー養成塾を受講して

私は、リーダー養成塾に参加して大きく変わったことがあります。

それは、自分の意見が言えるようになったことです。参加する前は、自分の意見は持っていました、言うことはできませんでした。リーダー塾が始まって、最初の方はクラスメイトのことをすごいと思うばかりで自分の意見に自信を持つこともできませんでした。しかし、段々と自分の意見を言えるようになりました。意見を言うのは、すごく緊張しましたが、クラスメイトが否定せずに聞き入れてくれたので、意見を言えるようになりました。それからは、悩みながらも自分らしく意見を発信することができたと思います。

リーダー塾中や終わってから、先生やクラスメイトに褒められたときリーダー塾で成長することができたなと思いました。

2 印象に残った講義とその理由

私が印象に残った講座は、鎌田先生の講座です。

私自身、以前から看護師を志していて、医師である鎌田先生のお話は大変興味があり、楽しみにしていました。鎌田先生のお話から、医療や勉強のこと以前に大切なことを教えてもらえました。私は、特に3つのことが心に残りました。

1つ目は、笑顔と希望の大きな力です。これは、二人のお子さんのいるお母さんが癌になり余命が残り僅かになった時に、長女の卒業式に出たいと思い、余命の何倍も生きて長女だけではなく、二人目の子どもの卒業式にも出席することができたという鎌田先生のお話から感じました。笑うことと希望を持つことは癌と闘うナチュラルキラー細胞を増加させ、自然免疫力を強くさせる効果あるらしいです。私は、日頃から笑顔でいることを心掛けています。笑顔でいると相手も自分も幸せになれると思います。それに合わせて、免疫作用を高めることも知り、より笑顔を中心掛けようと思いました。

2つ目は、安楽死のお話です。講義を受ける前に安楽死をめぐるニュースがあり、安楽死について少し考えている時がありました。安楽死や尊厳死の問題は、大変難しく、考えることは凄く難しかったです。そんな中、鎌田先生のお話を聞いて、尊厳死・安楽死の4つの要点、4つの苦しみ、日本の死の質の低さを知りました。お話を聞いて、安楽死についてしっかりと勉強すべきだなと思いましたし、日本の死の質の低さに驚きました。温かい死を迎えられるために、看護師として、患者さんのことを考え、ゆっくりとお話を聞く余裕を持ち、誰かのために何かができる人になりたいと思いました。

3つ目は、自由のありがたさです。今の日本は、どんな本も曲も読み聞かれます。しかし、昔や他の国では、その自由が保障されていませんでした。その自由のために革命を起こして、勝ち取ってきた歴史があります。今の生活は凄く恵まれていると思いました。それと同時にその自由に感謝しながら生活していきたいと思いました。

3 今後のわたし

私は、リーダー塾が終わったときに「発展途上国で働く看護師になる。」という宣言をしました。その宣言を叶えて、リーダー塾が私のターニングポイントといえる様に日頃の授業を大切にしていきたいです。リーダー塾では、意見を言えるようになりましたが、学校生活では、まだ言えないことが多いです。少しずつ努力をしていき、しっかりと分かり易く自分の意見を伝えていけるようになりたいです。